



**HEPHAIST**

東証スタンダード：6433

# 2025年3月期 決算説明会

6月4日(水)

ヒーハイト株式会社

【 第64期 経営方針 】

persist

## 目次

1. 2025年3月期決算概要
2. 2026年3月期業績予想
3. 中期経営計画の遂行・実現
4. 上場維持基準への適合に関するお知らせ
5. 直近のTOPICS
6. 参考資料
7. 今後の展開

# 1. 2025年3月期決算概要

➤ **連結売上高：22億4千5百万円** 前年同期比 6千5百万円（2.8%）減

- 直動機器は、需要回復の遅れや中国市場からの受注停滞が継続したこと等の影響を受け、売上高 13億6千5百万円（前年同期比14.2%減）
- 精密部品加工は、レース用部品の売上が増加したことにより、売上高 6億8千万円（前年同期比28.5%増）
- ユニット製品は、半導体製造装置・自動車生産設備の増強案件に対応したことでステージ製品増加及び、中国市場における医療機器用分析機器等の生産装置向けに球面軸受の売上が増加してきたことにより、売上高 1億9千8百万円（前年同期比5.2%増）

➤ **連結経常損失：1億8千9百万円** 前年同期比3千2百万円（-%）減

- 直動機器の売上高減少及び、固定費等の増加
- 大型ストレート形番の生産継続が困難と判断し、2025年度中に生産活動を終了する予定となり棚卸評価損を計上
- 株主優待費用を新たに計上

- 売上高は、不安定な国際情勢や為替相場の動向、国内物価上昇、中国経済の停滞などの依然として景気の下振れリスクが続いており、対前年比で減少

単位：百万円	2024年3月期 (実績)	2025年3月期(実績)				対前年増減額 (前年比)	2025年3月期 (期初予想)	対予想増減額 (予想比)
		上期	下期	通期	構成比			
売上高	2,310	1,076	1,168	2,245	100.0%	△65 (△2.8%)	2,452	△207 (△8.5%)
売上 総利益	315	159	174	333	14.9%	17 (5.7%)	505	△171 (△34.0%)
販管費及び 一般管理費	474	234	221	455	20.3%	△19 (△4.0%)	481	△26 (△5.5%)
営業損失	△158	△74	△46	△121	△5.4%	37 ( - %)	23	△145 ( - %)
経常損失	△156	△74	△114	△189	△8.5%	△32 ( - %)	16	△206 ( - %)
当期純損失	△221	△58	△144	△203	△9.1%	18 ( - %)	12	△216 ( - %)

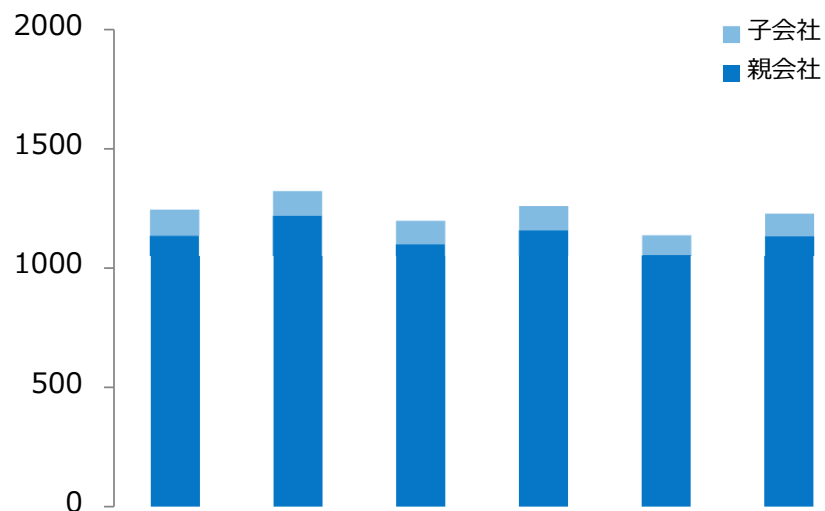
- 売上のトップラインが低迷した分、年間累計で損失計上
- 直動機器は、スマート生産を取り組んで参りましたが、  
需要回復の遅れや中国市場からの受注停滞が継続したこともあり減少
- 精密部品加工は、レース用部品の売上が増加
- ユニット製品は、国内生産設備にステージ製品が増加し、中国市場での装置向けに球面軸受が増加

単位：百万円	2025年3月期 第1四半期	2025年3月期 第2四半期	2025年3月期 第3四半期	2025年3月期 第4四半期	2025年3月期 通期
売上高	520	555	649	519	2,245
営業利益又は営業損失	△54	△20	23	△70	△121
経常利益又は経常損失	△52	△22	17	△132	△189
四半期純利益又は四半期 (当期)純損失	△38	△20	9	△154	△203

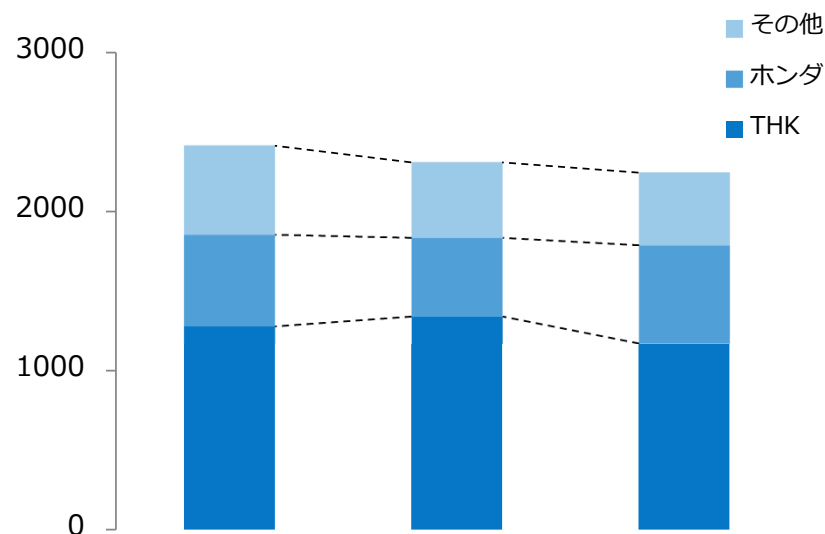
品目別	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
直 動 機 器	358	68.8%	336	60.5%	362	55.9%	308	59.4%	1,365	60.8%
精 密 部 品 加 工	118	22.8%	167	30.1%	233	35.9%	161	31.1%	680	30.3%
ユ ニ ッ ト 製 品	43	8.4%	52	9.4%	53	8.2%	49	9.5%	198	8.9%
合 計	520	100.0%	555	100.0%	649	100.0%	519	100.0%	2,245	100.0%

## 売上高 及び 主要売上先の推移

- 中国市場における医療用分析機器及び情報通信機器の製造装置向けに売上は増加傾向
- レース用部品の売上増加



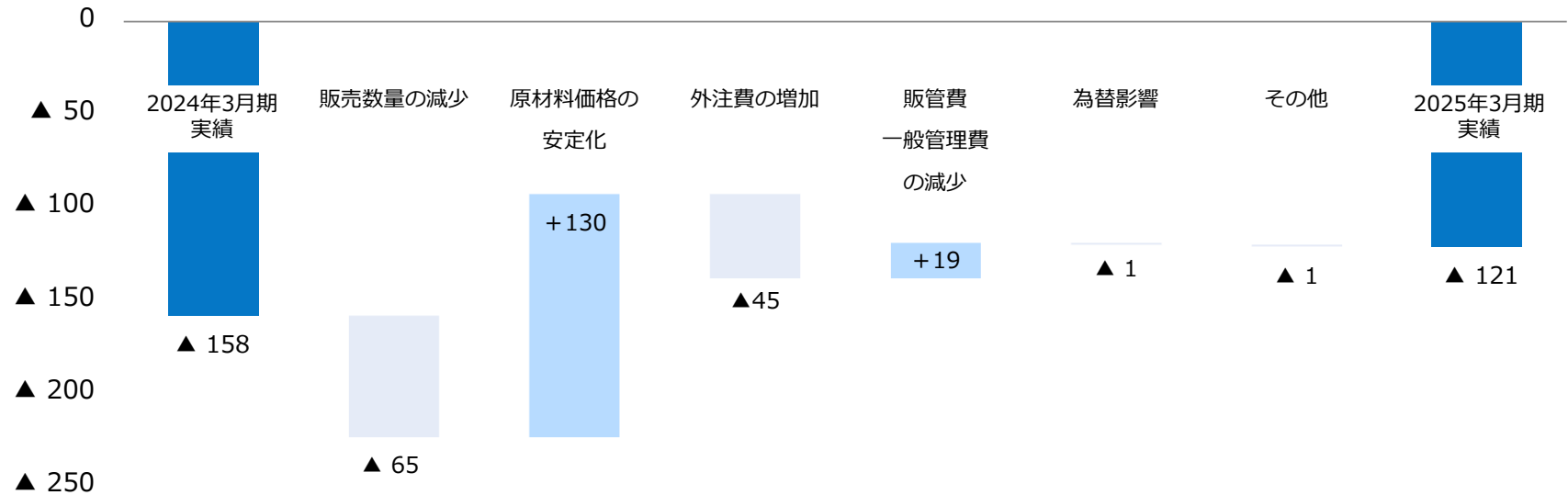
	2023年3月期上期	2023年3月期下期	2024年3月期上期	2024年3月期下期	2025年3月期上期	2025年3月期下期
子会社	107	102	97	101	82	93
親会社	1,138	1,219	1,102	1,159	1,058	1,135
内部取引	△73	△80	△73	△77	△64	△59
合計	1,172	1,241	1,126	1,183	1,076	1,168



	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
THK	1,280	1,341	1,173
ホンダ	575	494	616
その他	559	475	456
合計	2,414	2,310	2,245

- 販売数量が減少し、外注費が増加しましたが、原材料価格の安定及び生産が進んだことで、営業利益が前期比改善

(単位：百万円)



単位：百万円	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (実績)	増減額	コメント
流動資産合計	2,729	2,394	△334	棚卸資産 56百万円増 売上債権 62百万円減 現金及び預金 325百万円減
固定資産合計	2,654	2,613	△41	リース資産 115百万円増
<b>資産合計</b>	<b>5,383</b>	<b>5,007</b>	<b>△375</b>	
流動負債合計	1,070	859	△210	仕入債務 312百万円減
固定負債合計	1,294	1,329	34	長期借入金 58百万円減 リース債務 89百万円増
<b>負債合計</b>	<b>2,365</b>	<b>2,188</b>	<b>△176</b>	
純資産合計	3,018	2,818	△199	※連結自己資本比率56.3%
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,383</b>	<b>5,007</b>	<b>△375</b>	

単位：百万円	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (実績)	コメント
営業活動によるCF	166	△183	(プラス面) 減価償却費の増加・株主優待引当金の増加 (マイナス面) 仕入債務の減少
投資活動によるCF	△322	△51	有形固定資産の取得による減少
財務活動によるCF	171	△99	借入金の増加 借入金の返済
現金及び現金同等物に係る 換算差額	5	8	
現金及び現金同等物の 増加額(△は減少)	20	△325	
現金及び現金同等物の 期末残高	884	559	

## 2. 2026年3月期業績予想

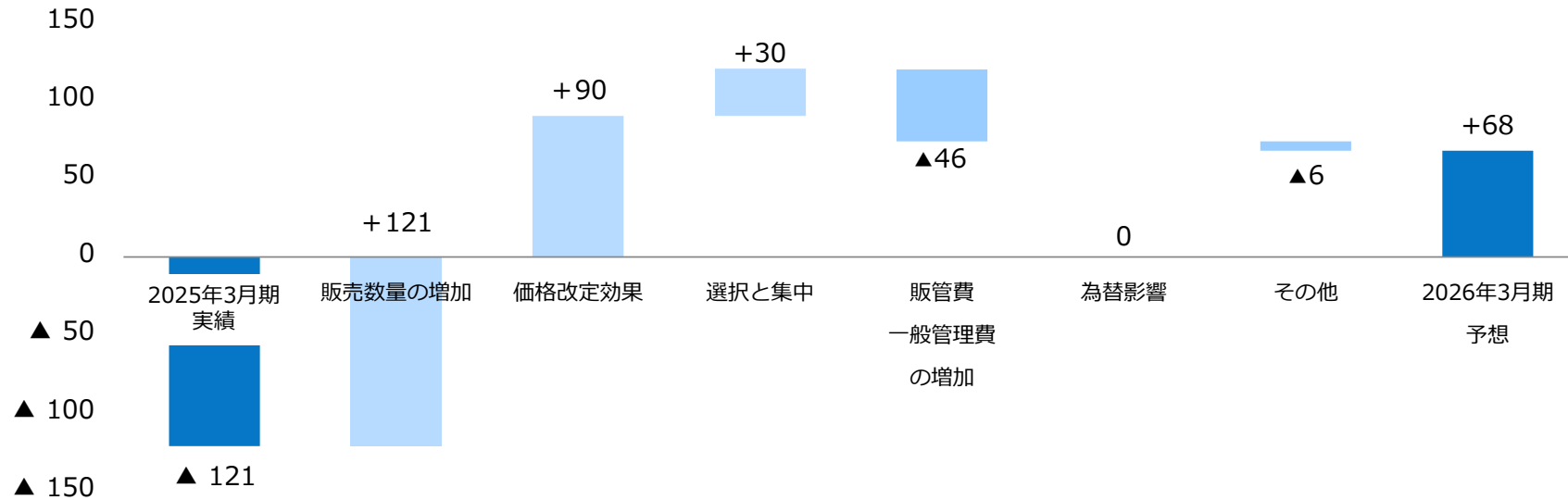
- 自動化関連の需要に向けて、強化した生産設備の生産能力を生かした直動機器のスマート生産を実践し、利益率の低い形番のスクラップ・アンド・ビルドを実行し、利益率向上見込む

単位：百万円	2025年3月期 実績	2026年3月期		2026年3月期 予想	前期比
		上期 予想	下期 予想		
売上高	2,245	1,126	1,360	2,486	10.8%
営業利益又は営業損失	△121	△8	77	68	－%
経常利益又は経常損失	△189	△13	71	57	－%
当期純利益又は当期純損失	△203	△8	42	34	－%
売上高営業利益率	△5.4%	△0.8%	5.7%	2.8%	8.2P

品目別	2025年3月期 実績	2026年3月期		2026年3月期 予想	前期比
		上期 予想	下期 予想		
直動機器	1,365	749	857	1,607	17.7%
精密部品加工	680	241	359	600	△11.8%
ユニット製品	198	135	143	278	40.0%
売上合計	2,245	1,126	1,360	2,486	10.8%

- 半導体需要の高まりや人手不足に伴う自動化に向けた設備投資の増加などにより、経済活動の正常化に向けた動きは継続していくものと想定
- 為替社内レートは、人民元21.20円

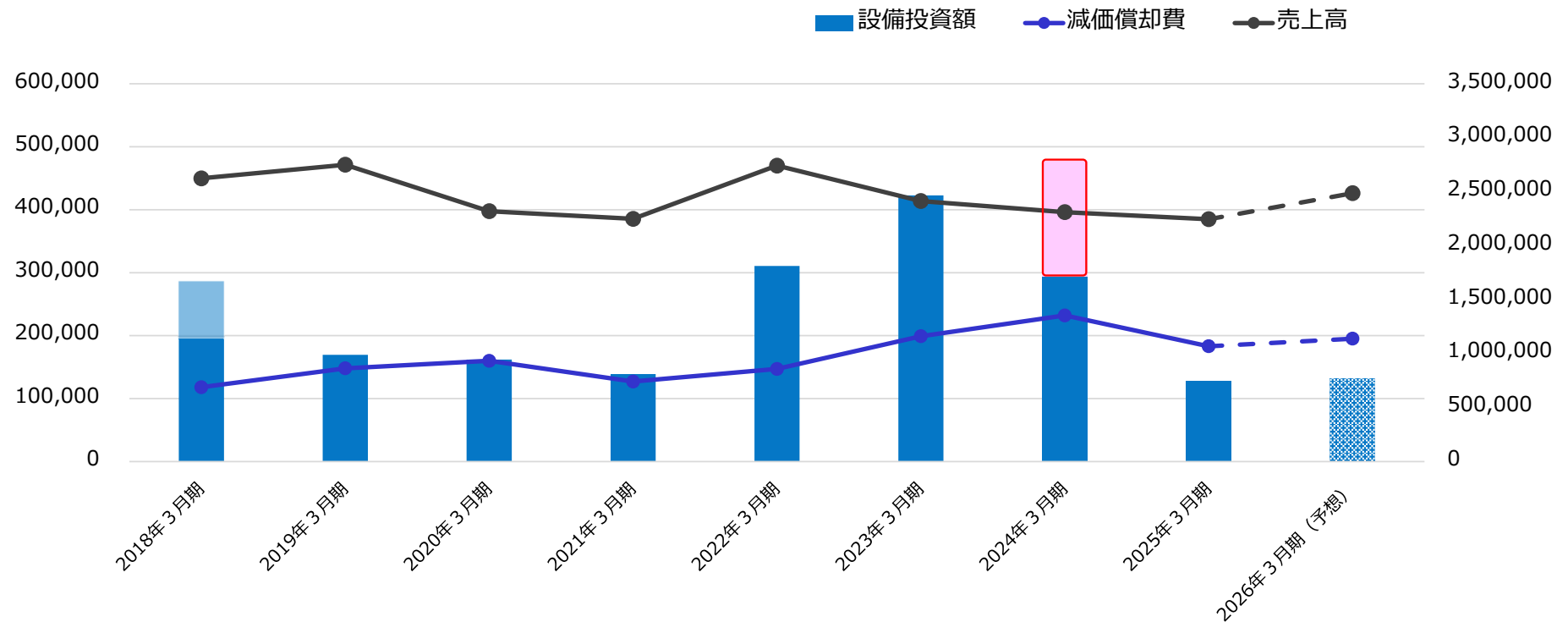
(単位：百万円)



- 2023年3月に直動機器増産のための工場A棟の稼働を開始し、中期計画に必要な設備投資を実行し、生産の増強を実施
- 2025年3月期の期首から減価償却方法を定率法から定額法に変更しており、その結果、減価償却費が減少し、平準化

設備投資額  
(単位：千円)

売上高  
(単位：千円)

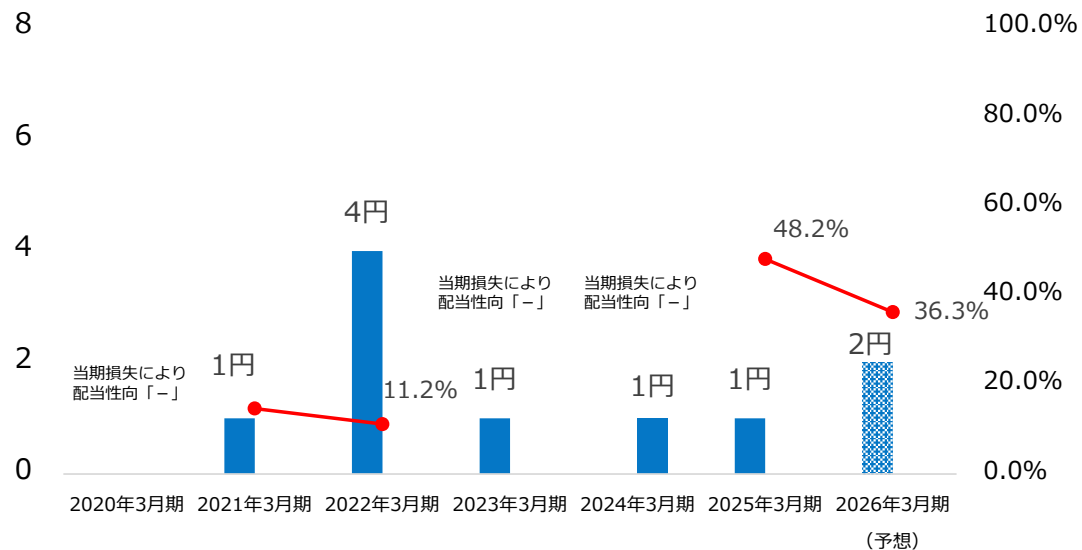


### <株主還元の強化>

- ・ 配当方針として、2027年3月期までに連結配当性向20~30%に強化。
- ・ 自己株取得を有効に活用し、人事戦略等に使用する。

(単位：円)

■ 期末配当 ■ 記念配当 ● 配当性向



### <株主優待制度>

- ・ 株主優待制度の目的

個人株主が多数を占める当社の株主構成を考慮し、個人株主の関心や期待が高い株主優待制度の導入。

直近株価で総合利回り（配当と株主優待の各利回りの合計）最大約12%に設定した株主優待制度となっております。

決算説明会等によるIR活動等を積極的に行い、より多くの株主様に当社のご理解いただくことで中長期的な株価向上につなげる取組みを継続し、株主優待制度を新設することで適切な株価形成につなげて参ります。

- ・ 株主優待制度の内容

#### (1) 対象となる株主様

2025年以降の毎年3月末日の株主名簿に記載又は記録された、100株（1単元）以上の当社株式を保有されている株主様を対象といたします。

#### (2) 株主優待の内容

項目	保有株数	優待内容
年間株主優待	100株以上	Q U Oカード 3,000円分

#### (3) 贈呈の時期

毎年6月下旬お送りする「定時株主総会決議のご通知」に同封し、お届けする予定です。

### 3. 中期経営計画の遂行・実現

- ・ 現在進めている中期計画『Hephaist Vision65』を着実に遂行することにより、各投資の成果を出し、2027年3月期には売上高2,863百万円、営業利益139百万円の達成を目指します。

中期経営計画 2024年3月期（第62期）～2027年3月期（第65期）売上高28億円へ

	2024年3月期		2025年3月期			2026年3月期	2027年3月期
	計画	実績	計画	修正計画	実績	計画	計画
売上高	2,271百万円	2,310百万円	2,452百万円	2,257百万円	2,245百万円	2,486百万円	2,863百万円
売上総利益	315百万円	315百万円	505百万円	352百万円	333百万円	569百万円	627百万円
売上総利益率	13.9%	13.7%	20.6%	15.6%	14.9%	22.9%	21.9%
営業利益または営業損失	▲163百万円	▲158百万円	23百万円	▲115百万円	▲121百万円	68百万円	139百万円
営業利益率	-	-	1.0%	-	-	2.8%	4.9%

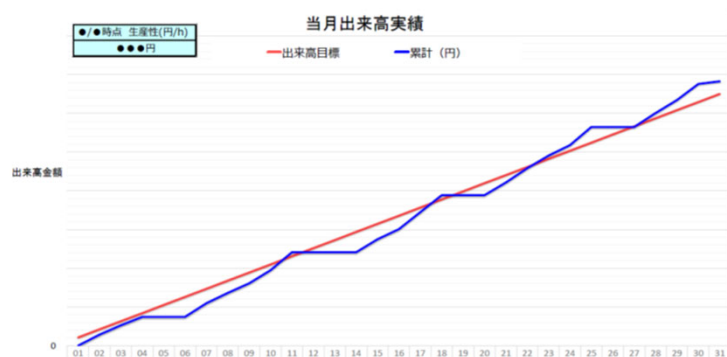
- ・ 中期経営計画については、每期ローリング方式で更新して参ります。
- ・ 当初の計画通り、設備投資・生産数量の確保による安定生産、人的資本投資等への成長投資を継続し、増産に対する生産体制を整え、戦略在庫も積んできたことにより、受注回復に備えております。
- ・ 製品群の見直し（スクラップ&ビルド）・・・低採算製品からの撤退を検討し、リソースを高収益製品に集中することを進め、採算性を向上させる予定です。
- ・ 2024年3月期は、計画に比べ受注回復が遅れたこと、原価が増加したことにより損失を計上しました。
- ・ 2025年3月期は、上半期まで受注回復が遅れ、下期受注増の見込でございましたが需要上階全体の回復にいまだに時間を要するため、損失を計上いたしました。※2024年11月12日発表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて2025年3月期通期業績予想を修正
- ・ 2026年3月期、2027年3月期は、計画を見直し進んで参ります。

＜中期経営指標＞

収益性 : 連結営業利益率 10% 以上 → 目標 : 2027 年 3 月期達成  
 効率性 : 連結 ROE 8%以上 → 目標 : 2027 年 3 月期達成  
 配当性向 : 連結配当性向 30%

＜A.直動機器の増産増販＞

- 成長戦略として中期的な自動化関連の需要増加に対応するため、「スマート生産プロジェクト」の一環とする設備投資を行い、生産を上げ、売上を伸ばして行きます。
- 利益率の改善は、設備投資のピークアウトによる償却費の減少及び、電力費削減等のコスト削減に加え、生産数量を確保し、安定的に生産することで、固定費率の減少を実現することにより利益回復を図って行きます。
- 半導体市場は、2024 年後半は再び徐々に市況が良くなっていき、2025年には過去最高の市場規模となる予想。
- 海外展開、協業への取組。



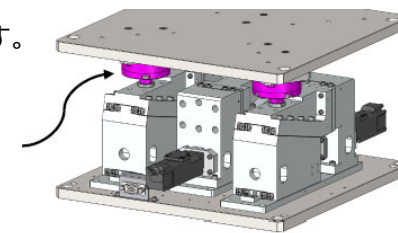
＜B.精密部品加工の売上確保＞

- ホンダグループのモータースポーツ参戦のレース用部品供給継続による収益を確保します。
- 強みを生かした新たな精密部品受託加工への取組。



＜C.ユニット製品の販路拡大＞

- 仕様の標準化による設計効率化及びお客様への対応時間を短縮し、販売強化します。
- 新製品NAF HW シリーズの販売を拡販し、更に製品ラインナップ増加を図ります。
- 新たな海外市場への展開を図ります。



### <株主還元の強化>

- ・ 上場20周年記念配当の実施。
- ・ 配当方針として、連結配当性向30%以上とする。
- ・ 自己株取得を有効に活用し、人事戦略等に使用する。
- ・ 社員持株会奨励金付与率を5%から50%に増額し、社員の株式購入機会の増加を促進し、安定的な株式購入需要を確保することで、出来高の増加に寄与し、株式市場での流動性向上を図る。

### <IR活動の充実>

- ・ より多くの投資家の皆様に当社の情報をお伝えするため、今まで以上にIR活動を強化して参ります。具体的には、以下の取組を中心に情報発信をより一層推進して参ります。
- ・ 決算説明資料を「ログミーFinanceの説明書き起こし」により、内容のより深い事業理解へ繋げ、同時に、多くの投資家に配信し、これまで以上に投資家へ情報の裾野を広げていく取組を進めております。
- ・ スポンサーレポートとしてFISCO 企業調査レポートを開示しております。
- ・ 自社HP等でのIR/PR情報発信の強化
- ・ 1 on 1 ミーティングの実施等

### ●サステナビリティに関する取組

- ・ 太陽光発電の設置（年間発電量約162,000kwh、CO<sup>2</sup>排出量年間約60.65tの削減を見込む）
- ・ 廃棄物を固形燃料へ再利用「RPF」（Refuse Paper & Plastic Fuel）
- ・ フードドライブ事業参加（食品廃棄ロスを減らし、子ども食堂へ食品を寄付）
- ・ 国際協力活動支援（チャイルド・スポンサーシップ）（貧困に苦しむ支援地域の環境整備を支援）
- ・ 紙のエコ化（卵の殻のリサイクル）エコペーパー「CaMISHELL®」の使用

### ●人的資本経営を意識した取組

- ・ 事業推進の核となる人材の育成
- ・ 教育制度の拡充
- ・ 海外人材の活用
- ・ 女性管理職の登用
- ・ 男性の育児休暇取得
- ・ 奨学金返還支援手当の導入
- ・ 社員持株会奨励金付与率を5%から50%に増額し、福利厚生の実施により、社員と会社とのエンゲージメント向上を高め、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上。

### ●パートナーシップ構築宣言で協力会社との関係強化

## 4.上場維持基準への適合に関するお知らせ

- この度、東京証券取引所より2025年3月31日時点における「上場維持基準（分布基準）への適合状況について」を受領し、スタンダード市場の全ての上場維持基準に適合しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

＜当社の上場維持基準への適合状況＞

当社のスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め下表のとおりとなっています。

2024年3月31日時点では、流通株式時価総額が適合していませんでしたが、上場維持基準への適合に向けた計画に基づき取組みを進めた結果、2025年3月31日時点で適合いたしました。

これにより、スタンダード市場の上場維持基準の全ての項目に適合することとなりました。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況	2023年3月31日時点	1,987人	32,354単位	7.8億円	51.2%
	2024年3月31日時点	1,931人	31,945単位	8.3億円	50.5%
	2025年3月31日時点	20,210人	35,340単位	15.3億円	55.9%
上場維持基準		400人	2,000単位	10億円	25.0%
2025年3月31日時点の適合状況		適合	適合	適合	適合

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

＜上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価＞

当社は、適合に向けた計画書に基づき、安定的かつ継続的な事業拡大を実現するための各種事業上の施策を着実に進めるとともに、株主優待制度などの株主還元施策やI R 活動による認知度の向上も取組み、企業価値を高めることを取り組んで参りました。

今後も上場維持基準の適合を維持するため、中期経営計画の着実な実行により企業価値向上に努めて参ります。

## 5.直近のTOPICS

<マレーシア MIRAI INDUSTRIAL AUTOMATION (M) SDN BHD 社とパートナーシップ契約締結のお知らせ>

- ・当社は、昨今の世界情勢を鑑み、マレーシア市場の開拓及びステージのメカニカル及び電気制御の技術的な相互補完を目指し、マレーシア MIRAI INDUSTRIAL AUTOMATION (M) SDN BHD 社とパートナーシップ契約を締結しました。
- ・今後MIRAI 社は、アライメントステージ、球面軸受SRJ、回転ボールスプラインユニットHRSUの拡販及び現地でのテクニカルサポートを進めて参ります。

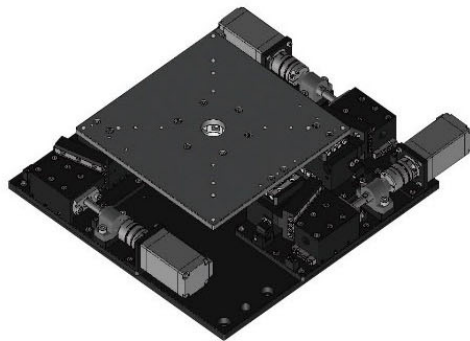


<https://www.hephaist.co.jp/>

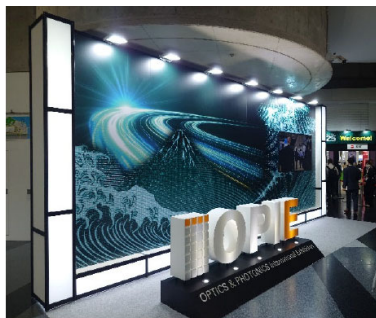


<https://mirai-automation.com/>

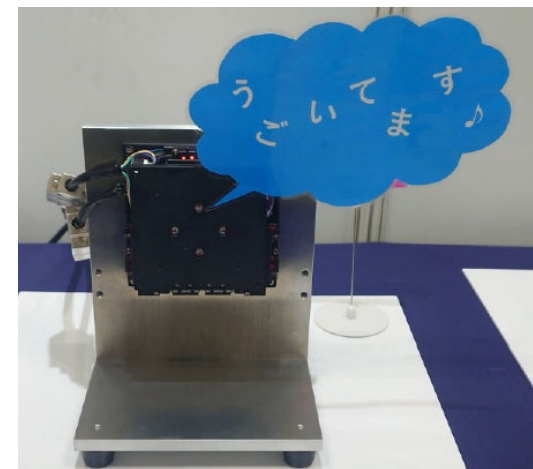
MIRAI Industrial Automation (M) Sdn Bhd  
No 11A, Jalan USJ 7/3B, 47610 UEP Subang Jaya, Selangor., Subang Jaya 47610



<OPIE '25 (OPTICS PHOTONICS International Exhibition 2025) に出展>



- 2025年4月23日(水)から4月25日(金)までの3日間、パシフィコ横浜にて開催された OPIE '25 に出展いたしました。
- 全体の来場者数は3日間で15,658名となりました。OPIE は初めて出展する展示会であり、今までアプローチ出来ていなかった光学系のお客様に製品を認知していただきました。特にSRJ (球面軸受) とSRJS (球面軸受軸短タイプ) を用いたZチルトステージは多くのお客様に関心を持っていただきました。いただいたお声をもとに、更に製品力を強化して参ります。



### <SDGs パートナーとして登録>



当社はSDGs（持続可能な開発目標）への貢献を意識した事業活動に取り組んでおり、この度、埼玉県SDGs パートナーとして登録されました。これからもサステナブル経営の取り組みを加速させるとともに、埼玉県との連携強化を通じて社会全体の取り組みにも貢献して参ります。



当社はSDGs（持続可能な開発目標）への貢献を意識した事業活動に取り組んでおり、この度、秋田県SDGsパートナーとして登録されました。これからもサステナブル経営の取り組みを進めていくとともに、秋田県との連携を強化し、豊かな未来づくりに貢献して参ります。

## 6. 参考資料

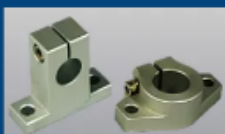
社名	ヒーハイト株式会社
本社	〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1
工場	埼玉工場 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1 [敷地面積16,677㎡ 建物面積7,997㎡] TEL : 049-273-7000 (代表) / FAX : 049-273-7001 秋田工場 〒010-1653 秋田県秋田市豊岩小山字下田454 (豊岩工業団地内) [敷地面積36,292㎡ 建物面積4,525㎡] TEL : 018-828-0111 / FAX : 018-828-1192
海外	赫菲(上海)軸承商貿有限公司 HEPHAIST (SHANGHAI) Co., Ltd. 赫菲(上海)軸承商貿有限公司 蘇州分公司 HEPHAIST (SHANGHAI) Co., Ltd. Suzhou branch
資本金	732,552,000円 (2025年3月)
上場株式市場	東京証券取引所スタンダード (証券コード : 6433)
発行済株式数	6,316,700株
代表者	代表取締役社長 尾崎 浩太
設立	1962年 (昭和37年) 7月19日

### 直動軸受 (円筒) 製品

世界で最初にリニアボールブッシュのミニチュアシリーズの量産を開始したリニアボールブッシュパイオニアメーカーであるヒーハイト製リニアボールブッシュは、コンパクトで使いやすく高精度・高品質リニアモーションベアリングで、メカトロニクスシステムにとって高速化、小型化、省エネルギー化への欠かすことの出来ない重要な機械要素です。



リニアボールブッシュ



シャフトフォルダ



ミニチュアボールねじ  
スプライン(BSSP)

### ボールスプラインユニット

ボールの転がり運動を利用した直線運動機構であり、軸と外筒の転走（送）溝の案内により、ラジアル荷重だけでなく、回転トルクを受けることができます。トルクを伝達しながら直線運動をする機構に最適で、搬送装置やロボットなど幅広い分野で使用されています。



有限ストロークボールスプライン



回転ベアリング一体型ボールスプライン  
ユニット (有限ストローク)

### LMHB

#### ハウジングに圧入組付けするリニアブッシュ

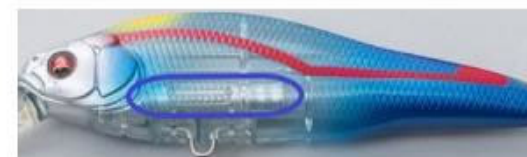


軽量化リニアボールブッシュLMHB

### SGIL

リニアボールブッシュの機構に重りを付けてルアーに内蔵し、慣性により飛距離を伸ばせる機構

#### ルアーの重心移動リニアボールブッシュ SGIL



超低重心ベアリングシステムとウェイトを一体化  
ウェイトルームベール

ヒーハイトは、未来を担う若手ドライバーの支援を通じた  
モータースポーツ振興を目的に、ドライバーの育成や挑戦をサポート・応援しています。



ヒーハイトは、1962年創業以来モータースポーツ向けエンジンパーツの製造に深く関わってまいりました。

0.1秒の速さを競うモータースポーツに提供するエンジンパーツは技術的要求が高く、その部品製造には独自のノウハウと高度な加工技術が要求されます。

モータースポーツの発展とともに変化する技術的要求に真摯に取り組んだことにより、一つひとつの高度な技術を確実に蓄積することができました。

この培った高度な技術と永年にわたるエンジンパーツの製造から学んだ「モノづくり精神」は、今日の独創的な製品を生み出す源となっています。

モータースポーツの発展とともに歩んできた当社は、「世界に通用するドライバーの育成」を掲げ、Hondaの若手ドライバー育成プログラムに心より賛同し、「ホンダ・フォーミュラ・ドリーム・プロジェクト」を応援いたします。

ヒーハイト株式会社  
代表取締役社長 尾崎 浩太

### 高精度位置決めステージ

ヒーハイトの高精度位置決めステージは、長年培ってきた直動案内軸受及び、精密機器部品の加工技術に、独自の改設計を基に開発された、これまでに類例を見ない数々の特長を備えた高精度位置決めステージです。



XYθステージ



超精密ステージ



Zチルトステージ



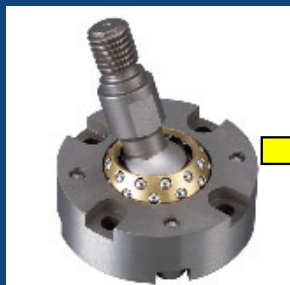
Z軸ステージ

### 球面軸受

パラレルメカニズムにとって不可欠な多自由度のジョイントは、これまで回転ジョイントの組み合わせによって2~3自由度を得ていました。しかしこれらのジョイントは構造上複雑になり、大きくなってしまいうという特長がありました。また多自由度を持つ滑りの球面軸受もありますが、大きな摩擦抵抗と内部隙間がありました。ヒーハイトではこれらの課題を解決すべく転がりによる球面軸受を開発しました。



### 球面軸受使用例



### 4軸モーションシミュレーターに使用される球面軸受 SRJ



出所：(株)ゼンカイレーシング提供資料 4軸モーションシミュレーターより掲載

<b>環境 SDGs</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 太陽光発電の設置（年間発電量約162,000kwh、CO<sup>2</sup>排出量年間約60.65tの削減を見込む）</li> <li>2. 廃棄物を固形燃料へ再利用「RPF」（Refuse Paper &amp; Plastic Fuel）</li> <li>3. フードドライブ事業参加（食品廃棄ロスを減らし、子ども食堂へ寄付）</li> <li>4. 国際協力活動支援（チャイルド・スポンサーシップ）（貧困に苦しむ支援地域の環境整備を支援）</li> <li>5. 紙のエコ化（卵の殻のリサイクル） エコペーパー「CaMISHELL」</li> </ol>
--------------------	---

### 1. 太陽光発電



### 2. 廃棄物を固形燃料へ「RPF」



### 3. フードドライブ事業



### 4. 国際協力活動支援 (チャイルド・スポンサーシップ)



### 5. 紙のエコ化 (卵の殻のリサイクル) 「CaMISHELL」



人的資本経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 奨学金返還支援手当の導入</li> <li>2. 持株会活性化（奨励金還元率UP 50%へ）</li> <li>3. 秋田市元気な子どものまちづくり企業認定</li> </ol>
取引先関係	<p>※. パートナーシップ構築宣言で協力会社への対応 支払サイトの短縮化（手形60日に変更）</p>

1. 奨学金返還支援制度の導入  
業務に集中して安心して長く働ける環境を整え、人材の確保と定着をより一層図って参ります。

2. 持株会活性化

- ・奨励金還元率を従来の5%から50%に増額
- ・社員と会社とのエンゲージメント向上を高め、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めて参ります。

※ パートナーシップ構築宣言で協力会社への対応

- ・支払サイトの短縮化（手形60日に変更）
- ・サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者の皆様との連携による相互付加価値向上及び、共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップの構築を目指します。

## 7. 今後の展開

## 経営ビジョン

自動化・省力化の機械要素部品「リニアブッシュ・アジアNo.1」

## 戦略

フランジタイプ増産及び拡販によりシェア拡大を目指す

2020～2023 「設備投資額 > 減価償却費」

2025～ スクラップ・アンド・ビルトで利益改善

## 【直動機器】

調整局面

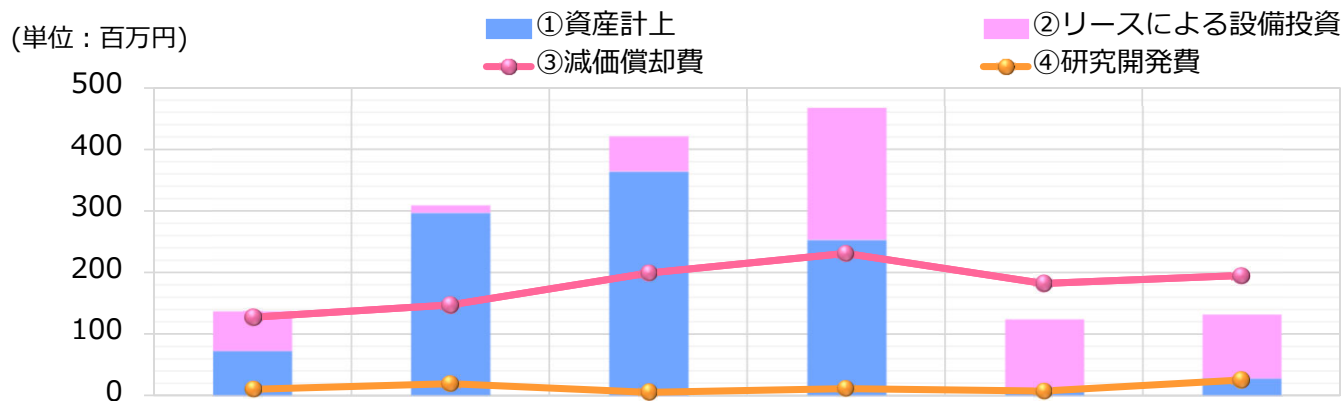
## 【精密部品加工】

25年後半から繁忙予想

## 【ユニット】

業界唯一の球面軸受は中国市場で需要増  
ステージ需要回復傾向

2023年3月期の資産計上(その他)に、工場A棟198百万円が含まれております。  
減価償却費は、機械設備は12年定額償却、建物は30年定額償却しております。  
研究開発費は、主に社内の自動化生産に向けた改善・開発の取り組みとなっております。



	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期	2024/3月期	2025/3月期	2026/3月期予算
①+②設備投資合計	138	310	422	468	124	132
①-1 資産計上 (機械)	44	259	296	27	3	16
①-2 資産計上 (その他)	29	38	68	226	5	12
②リースによる設備投資	64	12	57	215	116	104
						(単位: 百万円)
③減価償却費	127	147	199	231	182	195
④研究開発費	10	19	5	11	7	25

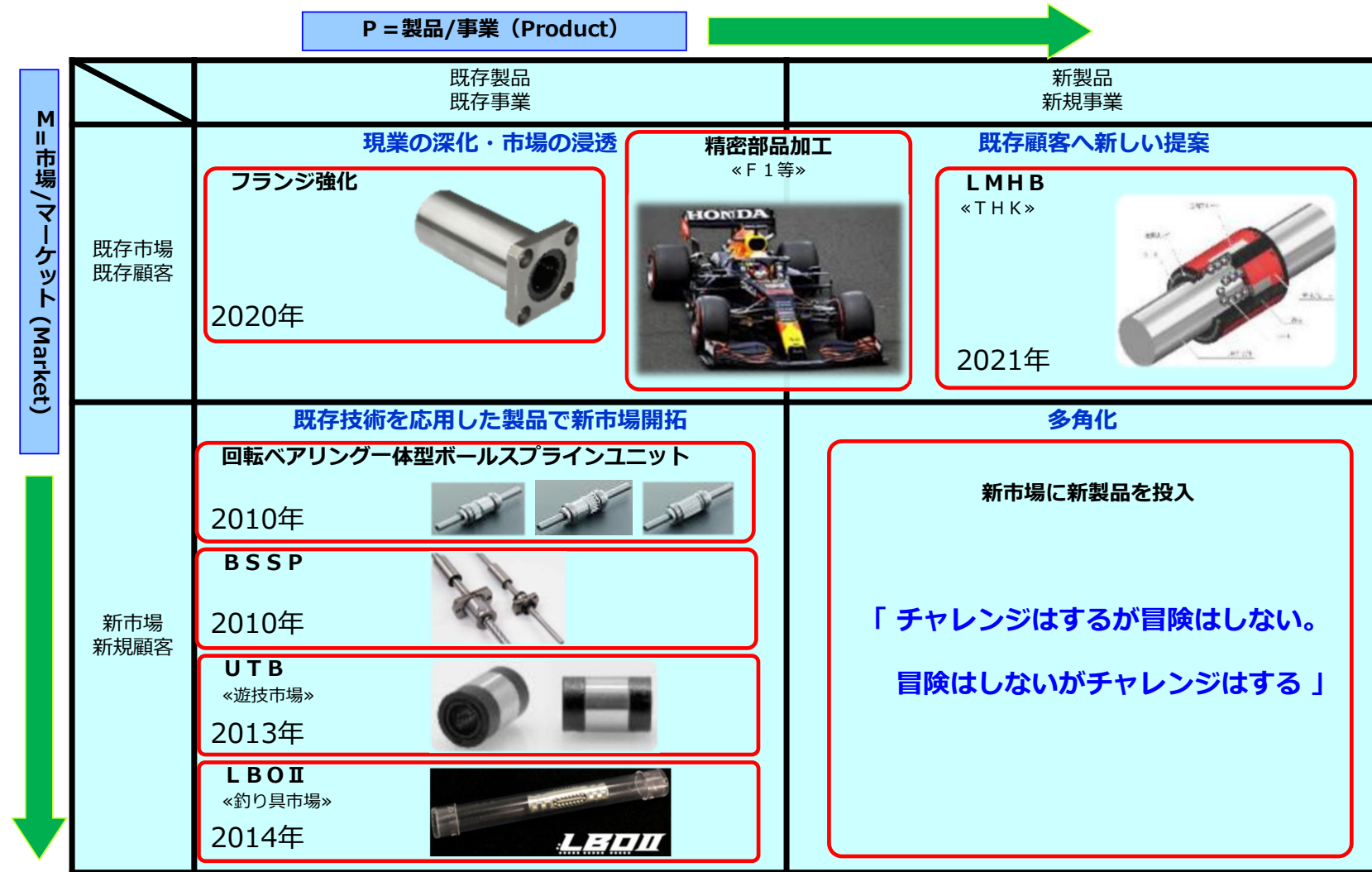
## 経営方針 **persist**

persistは、カタカナでパーシスト

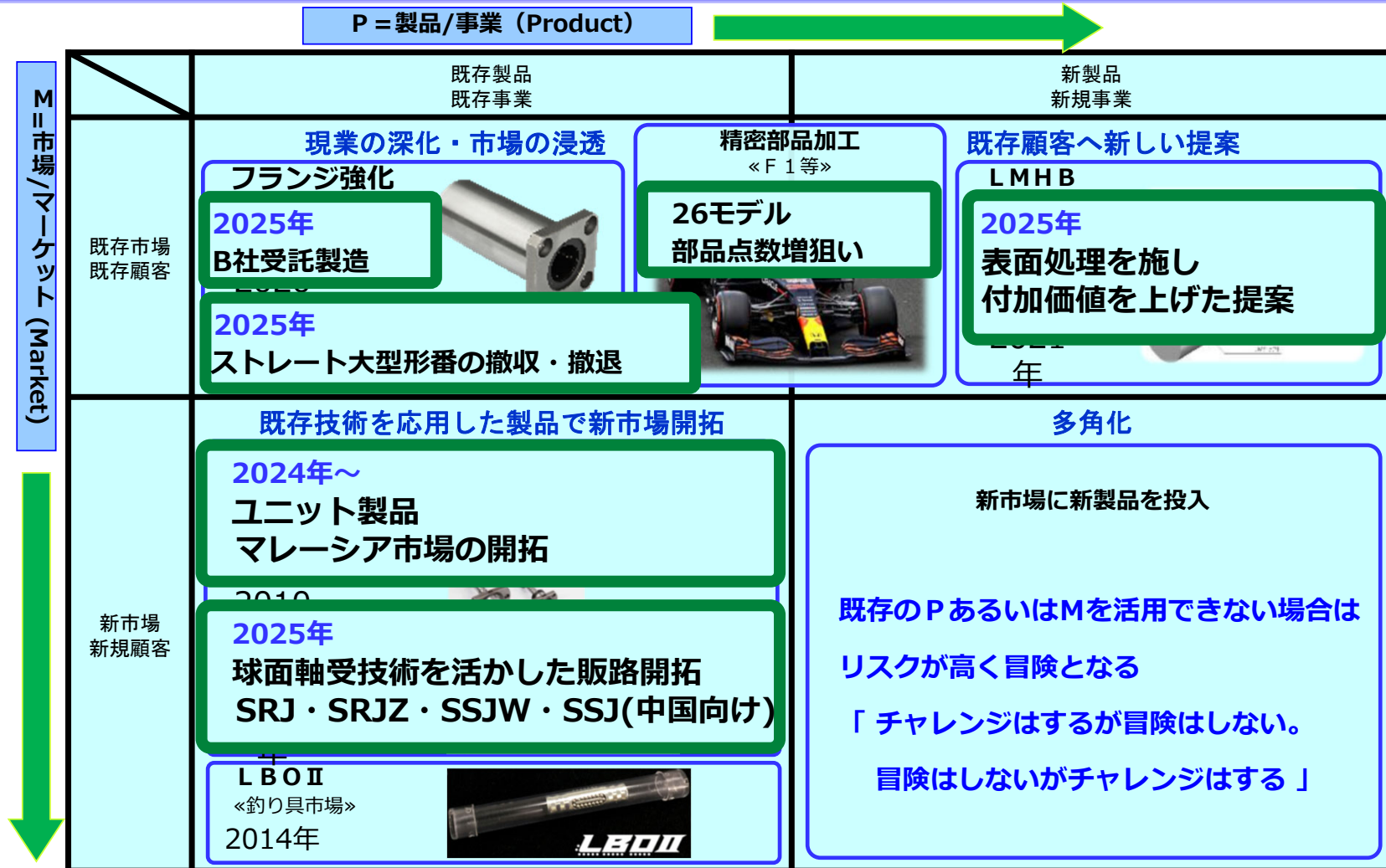
「貫いてやり抜く」「持続する」「固辞する」「残存する」という意味  
この単語は、何かを続ける状況や、困難な状況においてもあきらめずに  
努力を続けることを表現

特に変化や結果がすぐに見えない時でも、目標に向かって進み続ける姿勢を強調

機械の力を「機力」、人のマンパワーや技術力を「術力」と呼ぶなら、  
その両方が揃っていかないと、生産力は機能しない  
現在、「機力」と「術力」がバランスよく揃い始めている



▲既存のP、又はMのどちらかのシナジーを活用することでリスクを低減する



- 既存のP、又はMのどちらかのシナジーを活用することでリスクを低減する
- 「はやきこと風の如く」すべてにおいてスピード感をもって実行していく

厳格化された東証からの要請「流通株式時価総額」をクリアするために、株価や株主数等への対策が課題  
ただし、これらは自社の努力だけではコントロールできず、バックアッププランが必要となっている  
今後はプランの決議と実行となる

優待の実施により、多くの個人投資家に株式を保有してもらい、結果的に上場維持基準を達成できたことに感謝しつつ、本来は1株あたりの利益を上げて配当の形で還元を行うことが望ましい  
バランスを考えながら、より良いあり方を検討していく

ベアリング製品  
Bearing product

### HEPHAIST<sup>®</sup>

# 球面軸受 SRJ

Spherical Rolling Joint

## Spherical Rolling Joints

スキマゼロの転がり案内によって高剛性、高精度を実現  
Provides high precision and rigidity for zero clearance rolling guideways

**特許取得済み**  
Patented product



パラレルメカニズムにとって不可欠な多自由度のジョイントは、これまで回転ジョイントの組み合わせによって2~3自由度を得ていました。しかしこれらのジョイントは構造上複雑になり、大きくなってしまいうという特徴がありました。また多自由度を持つ滑りの球面軸受も有りますが、大きな摩擦抵抗と内部遊隙がありました。ヒーハイトではこれらの課題を解決すべく転がりによる球面軸受を開発しました。

Although the integration of spherical rolling joints provides 2 or 3 degrees of freedom, a requirement for use in parallel mechanisms, the result is complex and bulky.

Sliding spherical rolling joints having multiple degrees of freedom are also available but have negative characteristics that include frictional resistance and internal clearance problems.

Hephaist newly developed spherical rolling joint overcomes all the problems stated above.

**特長 Features**

- 1 高精度 Highly Precise**  
 可動部分は予圧を掛けた転がり軸受け構造になっている為に摩擦抵抗が小さくスキマゼロで高精度を実現しました。  
Since the center globe is assembled under pre-load conditions, a smooth rocking motion with extremely low frictional resistance, zero clearance, and high performance is achieved.
- 2 多自由度軸受の小型化 Compact Multi-Degrees of Freedom**  
 3自由度を持つ転がり軸受を組み合わせたものと比較し、高剛性・小型化を実現しました。  
The single unit provides a greater rigidity and greater compactness than joints made from integrating rolling joints having 3 degrees of freedom.
- 3 パラレルメカニズムへの応用 Highly Suited for Parallel Mechanisms**  
 パラレルメカニズムの高精度・高剛性・小型化に最適です。  
Optimal for parallel mechanisms requiring high precision, high rigidity, and compactness.
- 4 超精密球面加工技術 Super-Precise Spherical Surface Processing**  
 ヒーハイトの超精密内球面加工技術により実現しました。  
Unique Hephaist Seiko processing technology provides super-precise spherical surfaces.

ヒーハイト株式会社  
HEPHAIST Co., Ltd.

2020/7

### 球面滑り軸受

- 給油式球面滑り軸受
- 無給油式球面滑り軸受



**■構造と特長**

IKOの球面滑り軸受は、内外輪を球面接触させた構造で、大きなラジアル荷重と、特定の方向のラジアル荷重を同時に負荷できる自動球心形の球面滑り軸受です。球面滑り軸受には様々な形式がありますが、滑りの種類によって給油式と無給油式など大別できます。

給油式球面滑り軸受は、内外輪とも高炭素クロム軸受鋼が使用され、滑り面はりん酸塩皮膜処理されたうえ、二次酸化モリブデン (MoS<sub>2</sub>) の乾燥皮膜でおおわれているので、低トルクで作動し、耐摩耗性に優れた負荷容量の大きな軸受です。特に交通荷重や衝撃荷重が働く場合に適し、主に産業機械、建設機械などに広く使用されています。

無給油式球面滑り軸受は、滑り面に適合の形で研磨された特殊PTFEライナーを研磨した外輪と、滑り面に研磨クロムめっきを施した球面内輪との組合せで、圧縮荷重に対するクリープ変形が少なく、耐摩耗性に優れたモンテラッスライナーが採用されています。特に一定方向の荷重を負担する場合に適し、食品機械を始めとする油を塗らな分野や建設機械の給油不可能な場所に適しています。

**■IKO 球面滑り軸受**



**■すきま**

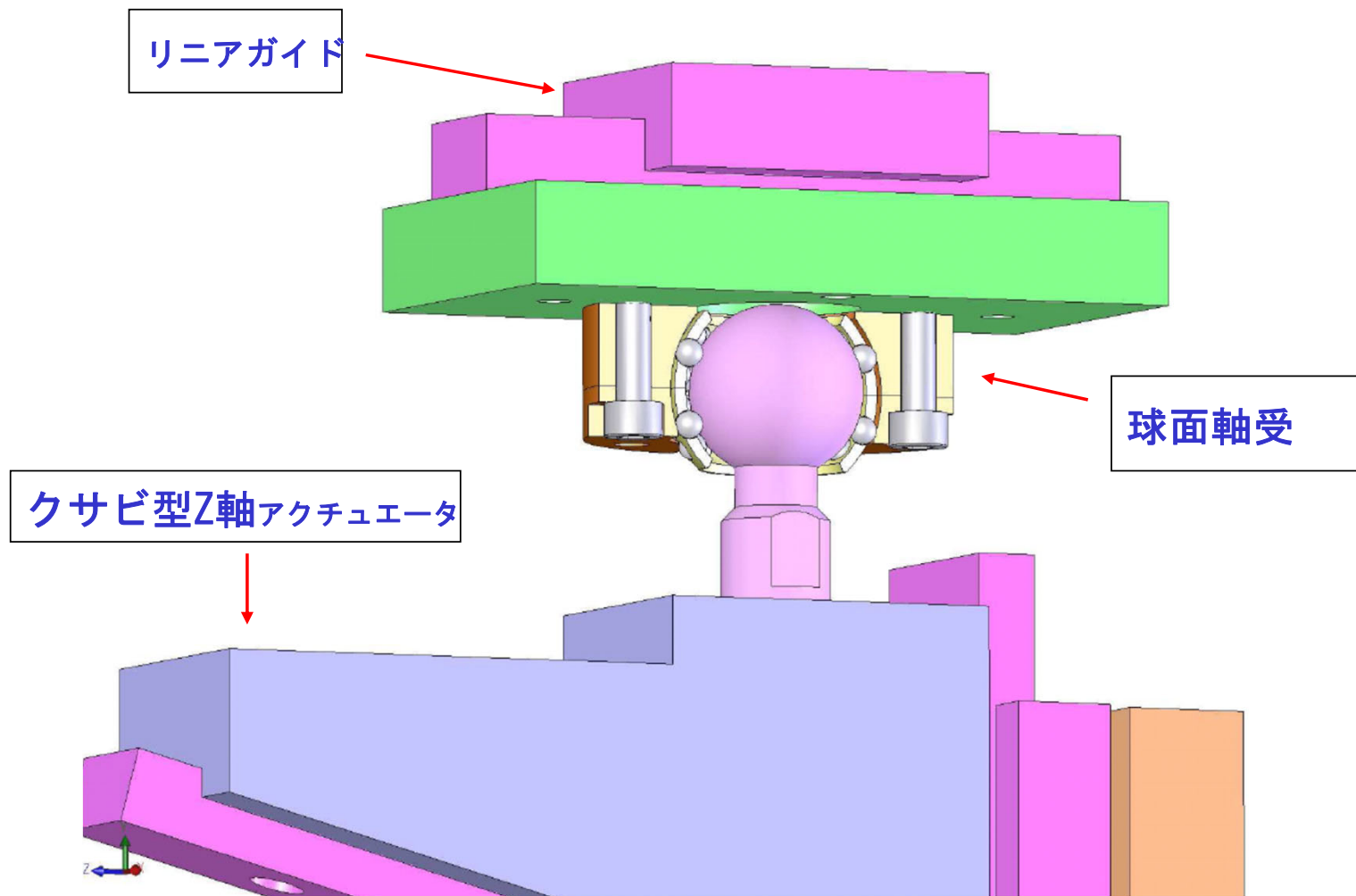
球面滑り軸受のラジアル内部すきまは、外輪分割前の値で表4、表5及び表6によります。また、インテグリスのラジアル内部すきまは、寸法表中に示してあります。

なお、このすきま以外の球面滑り軸受も製作しますので、IKO お問い合わせください。

表4 給油式球面滑り軸受SB、SB-Aのラジアル内部すきま

d 呼び軸受内径 mm	SBのラジアル内部すきま		SB-Aのラジアル内部すきま	
	最小	最大	最小	最大
12	70	125	32	68
15				
20			40	82
22				
25	75	140	50	100
30				
35				
40				
45	85	150		
50			60	120
55				
60	90	160		
65				
70			72	142
75	95	170		
80				
85				
90			85	165
95	100	185		
100				
110				
115	110	200		
120				
130				
140	120	215	100	192
150				

- 転がり案内による球面軸受は、**世界で唯一ヒーハイトのみが製品化**
- 無負荷ではスキマゼロ且つ転がり案内の為、摩擦係数はすべりの**約 1/10**
- ミクロンレベルの追従性
- 設計技術者に直接訴求することにより、試作検討の俎上に乗せることが**引合獲得のカギ**となる





## ヒーハイト株式会社

担当窓口 : 取締役 管理部長 佐々木 宏行  
          : 管理部 総務課長 大松 勝

TEL : 049-273-7000

FAX : 049-273-7001

E-mail : [info1@hephaist.co.jp](mailto:info1@hephaist.co.jp)

URL : <https://www.hephaist.co.jp/>

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを、あらかじめご承知置きますようお願い申し上げます。